

2005.6.4 (SAT)

土木計画学研究委員会

交通需要予測技術検討小委員会の活動報告

小委員会委員長 太田勝敏

1. 委員会構成メンバー

小委員長	太田 勝敏	東洋大学 国際地域学部国際地域学科 教授, 東京大学 名誉教授
顧問	宮城 俊彦	岐阜大学 地域科学部地域科学科 教授
顧問	北村 隆一	京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 教授
委員	赤松 隆	東北大学大学院 情報科学研究科人間社会情報科学専攻 教授
	朝倉 康夫	神戸大学大学院 自然科学研究科地域空間創生科学専攻 教授
	石田 東生	筑波大学 社会工学系 教授
	上田 孝行	東京大学大学院 工学系研究科社会基盤学専攻 助教授
	河邊 隆英	パシフィックコンサルタンツ(株) 新事業開発本部 NPM 開発室 技術課長
	古倉 徹夫	パシフィックコンサルタンツ(株) 都市・地域本部長
	鈴木 信行	パシフィックコンサルタンツ(株) 総合計画本部 地域計画部 技術部長
	西井 和夫	山梨大学 工学部土木環境工学科 教授
	原田 昇	東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻 教授
	藤田 素弘	名古屋工業大学大学院 工学研究科都市循環システム工学専攻 助教授
	堀江 清一	(株)長大 常務取締役
	松岡 斉	財団法人 日本総合研究所 特別研究本部企画部 部長
	溝上 章志	熊本大学 工学部環境システム工学科 教授
	宮本 和明	武蔵工業大学 環境情報学部環境情報学科 教授
	室町 泰徳	東京工業大学大学院 総合理工学研究科人間環境システム専攻 助教授
	毛利 雄一	財団法人 計量計画研究所 研究部社会システム系 次長
	森川 高行	名古屋大学大学院 環境学研究科都市環境学専攻 教授
	屋井 鉄雄	東京工業大学大学院 総合理工学研究科人間環境システム専攻 教授
	吉田 朗	東北芸術工科大学 デザイン工学部環境デザイン学科 助教授
	和久井 博	(株)社会システム研究所 代表取締役

2. 平成16年度の活動内容と今後の活動内容

(1) 平成16年度の活動内容

①「利用者均衡配分の実務適用に向けて」の講習会を開催

・10月26日(火) 東京／ 野口英世記念館

参加者合計118名(学校関係7名、地方整備局及び事務所40名、地方公共団体2名、公団9名、コンサルタント60名)

・11月 2日(火) 大阪／ 大阪新梅田研修センター

参加者合計129名(学校関係5名、地方整備局及び事務所61名、地方公共団体3名、公団3名、コンサルタント41名)

②小委員会の開催

・11月20日(土) 山口大学(土木計画学研究発表会に合わせて)

③「道路交通需要予測の理論と適用 第Ⅱ編」の執筆作業

- ・ 第Ⅰ編執筆後の検討結果を踏まえ、全車種日単位の利用者均衡配分を実務に適用するための補足情報を解説
- ・ 近年の実務上のニーズが高い、利用者均衡配分の発展的モデルについて、交通量推計の実務者をターゲットに理論や実務への適用の考え方、方法、手順を解説（第Ⅰ編で予告済み）。

—道路交通需要予測の理論と適用・第Ⅱ編 目次案—

- 第1章 本書の構成と使い方
- 第2章 リンクパフォーマンス関数
- 第3章 有料道路の扱い方
- 第4章 アルゴリズム
- 第5章 収束判定
- 第6章 多様な料金施策に対応した均衡配分
- 第7章 確率的利用者均衡配分
- 第8章 マルチクラス配分
- 第9章 時間帯別配分
- 第10章 需要変動型推計手法
- 第11章 費用便益分析と利用者均衡配分

**道路交通需要予測の
理論と適用**

第Ⅱ編

利用者均衡配分と発展モデル

（2）平成17年度の活動内容

- ①「道路交通需要予測の理論と適用 第Ⅱ編」の出版（平成17年夏頃を予定）
- ②上記「第Ⅱ編」出版に伴うワンデーセミナーもしくは講習会の開催（平成17年10月頃）